

日々の診療や勉強お疲れ様です。師走を迎えいよいよ今年も残りわずかとなりました。特に6年生の皆さんは、国家試験が目前に迫り、緊張感の高まる時期かと思えます。これまでの努力が必ず実を結ぶと信じて、ラストスパートを駆け抜けてください。年末年始も勤務や試験勉強で忙しい方が多いことと思いますが、この機会に一年を振り返り、来年の新たな目標を考えてみるのもいいですね。

さて、今回の小児科通信でも、医局の行事、医局員の先生方の学会参加予定に加え、毎月医局員の先生お一人ずつから若い先生方へのメッセージを掲載しています。どうぞ気軽な気持ちで目を通してくださいね。

～11・12月の医局行事報告～

11月11日 クリニカルカンファレンス

内分泌代謝グループが「当院における拡大マススクリーニングの現状～ライソゾーム病を中心に～」というテーマで発表しました。

11月28日 学位取得報告会

川村先生、水城先生が、学位審査の公開審査で発表された内容の説明に加えて、学位取得に至るまでの研究や大学院生活について紹介してくれました。

12月9日 クリニカルカンファレンス

感染・免疫グループが「小児科におけるMRSA」というテーマで発表しました。

12月2日 産業医科大学小児科 大忘年会が行われました

医局員、入局予定や入局検討中の研修医の先生方、病棟の看護師、薬剤師など小児科に関わる方々にご参加いただき、盛大に忘年会が行われました。

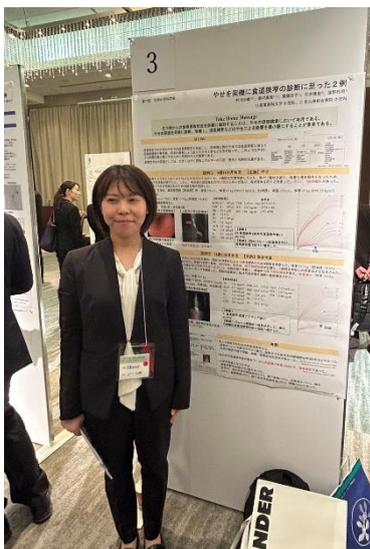
また、幹事の水城先生、柴原先生、準備から当日の進行まで、本当にありがとうございました。



～11月の学会報告～

11月16-17日（熊本） 第77回 九州小児科学会、九州小児科野球大会

学会では村川先生が「やせを契機に食道狭窄の診断に至った2例」を発表されました。野球大会では、一回戦は九大と対決して4-6で敗退、二回戦は琉球大学と対決して14-3で勝利しました。優勝チームは九大でした。野球大会では入賞を逃しましたが、懇親会の芸では3位という輝かしい成績を収めました！野球大会に参加くださった皆様、お疲れさまでした。



～12月・1月の医局内イベント～

1月20日 18時～ 血液腫瘍班セミナー

★クリニカルカンファレンスとセミナーはZoom参加出来ます。参加してみたい方は、桑村 (maeguchi06@med.uoeh-u.ac.jp) または守田 (h-rita@med.uoeh-u.ac.jp) までご連絡ください。

～医局員からのメッセージ～

産業医科大学小児科後期研修 1年目の宮地秀途です。

北九州市出身で、父親は産業医大出身で本同門会の会員です。出身大学は東海大学医学部で、高校時代は受験勉強というものとは程遠いサッカー一辺倒の高校生活を送っていました。数年前、福岡出身の某ラグビー日本代表選手が某大学医学部に入学しましたが、私はその先駆者であると自負しております。関東での大学生生活を終え、地元である北九州にある北九州総合病院に初期研修医として就職しました。2年間の研修期間に小児科でも研修を行いました。小児科と整形外科で悩んでいましたが、子どもと接することが大好きな自分は小児科を選びました。いまのところ、その選択は間違いではなかったと思っています。研修生活では、コロナ禍で制限もたくさんありましたが、その制限も意に介さず、医療以外でも学ぶべきことが多く、医師として良いスタートが切れました。

3年目から地元でもあり、尊敬する父親がOBでもある産業医科大学の小児科に入局しました。小児科診療での最初の病棟は小児血液腫瘍病棟（いわゆるAチーム）でした。診断をつけるための検査や抗がん剤治療など、今まで経験したことがないことがたくさんありましたが、一番思い出に残っているのは親御さんに行う病状説明です。その時に小児科医は、病気を患っている児を治療するだけでなく、家族全員のメンタルケアを行うことも重要であることを学びました。それからは日頃の業務に加えて、患児と遊んだり、親御さんが色々なことに困ってないか話を聞きに行ったりなど、積極的にコミュニケーションをとるようにしました。その中で患児・親御さんと良好な関係性を築き、日頃の診療にも活かすことができました。今後もその寄り添う気持ちを忘れずに診療に励んでいきたいと思えます。まだまだこれから学ぶべきことが多い未熟者ですが、ご指導賜れば幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

小児科通信に関してご意見や感想があれば桑村
(maeguchi06@med.uoeh-u.ac.jp) または守田
(h-rita@med.uoeh-u.ac.jp) までご連絡ください。

～次号もお楽しみに～